

2021 年度実施概要

学校名

洋野町立大野中学校

採択活動名

大野を知り、世の中に発信する

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

単元名	学年	教科
1. 地域の豊かさを受け止める	1 学年	総 合
2. 大野とそれを取りまく地域との比較	2 学年	総 合
3. 地域の未来について考える	3 学年	総 合
4 地球と私たちの未来のために	2 学年	理 科
5, 思いをはせる	3 学年	国 語
6, 国際社会が抱える課題	3 学年	社 会
7, 地域調査の手法	1 学年	社 会
8, 地域の在り方	2 学年	社 会
9, Unit 5 Plastic Waste	3 学年	英 語
10, Unit 5 Earthquake Drill	2 学年	英 語

取り組みの概要

(1) 第 1 学年

自分たちの住んでいる地域に改めて知り、体験を通して学ぶことを目指した。「震災・防災・海洋」の関わりを学習し、震災当時の様子を調べる活動を通して、復興の現状や防災の知識、海との共生について調べた。また、学習したことをまとめ、「海洋子どもサミット」にて自分たちの住む地域の特性や産業について発表した。大野地区産業体験学習が中止となったため、地域コーディネーターが取材したビデオを鑑賞し、大野で働く人の姿を知ることができた。

(2) 第 2 学年

海洋地域における地形を歴史的観点から学習し、大野地区の学習から洋野町全体の特色について学んだ。種市の種市層やウニ増殖溝を見学したり、実際に化石を掘削したりしながらひろのまきば天文台の阿部台長の話聞いて学習した。

また、キャリア教育と関連付けながら、自分たちが住んでいる地域と他地域の比較を行った。盛岡での宿泊研修を行い、洋野町との違いや産業の違いを調べた。

(3) 第 3 学年

種市地区漁業関連施設についての学習や、岩手県立種市高等学校海洋開発科の実習を見学し学習を深める予定だったが、感染症拡大のため中止した。東京への修学旅行も中止となったため、函館方面への修学旅行では、グループごとに見学先を決め、働いている人の姿を通して、職業観や勤労観を学

習した。また、海と人との関わりやその歴史について学ぶことができた。

(4) 学習のまとめ

各学年とも、学習のまとめとして個人新聞やレポートを作成し学びを交流した。

1 学年では、学習の成果を子どもサミットで岩手、宮城、福島の小中学生と交流した。

(5) 成果と課題

「自分たちが住む町の良さを知り、それを発信する」ことを学習の根幹として 1 年間取り組んできた。それにより、大野地区の産業や特性を今まで以上に深く学習することができた。感染状況を考慮しながら前年度よりも多くの活動に取り組むことができたと思う。しかし、昨年同様、社会情勢に大きく左右されたために、学習内容が深まらなかった部分も同じようにあるため、来年度の活動を見直していく必要がある。

【活動中の写真 NO, 1】

学校名	洋野町立大野中学校
タイトル	1 学年 震災学習
コメント	令和 3 年度 1 学期の学習の様子である。 洋野町の八木地区防災センターで震災時の様子や、現在の災害対策について学んだ。また、種市の北三陸ファクトリーにて洋野町の沿岸部の特色について学習した。



【活動中の写真 NO, 2】

学校名	洋野町立大野中学校
タイトル	2 学年 海洋学習
コメント	令和 3 年度 1 学期の学習の様子である。 有家海岸周辺で種市層を観察し、化石掘削を行った。また、川崎製鉄元山砂鉄鉱跡地での地質調査を行った。



【活動中の写真 NO, 3】

学校名	洋野町立大野中学校
タイトル	3 学年 修学旅行
コメント	令和 3 年度 10 月 29 日, 30 日実施の 3 学年の学習の様子である。 五稜郭では幕末の歴史について学習しながら本州と北海道の関わりについて学習した。

